



いしかわ労福協

第 589 号 2017年2月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 西田 満明
編集人 上野 貞彦
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
電話 (076) 231-1737
FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行

奨学金の現状とこれからの奨学金制度 第40回石川労福協研究集会を開催



労福協は、2月3日(金)フレンドパーク石川2階ホールにおいて、連合石川傘下組合員、各会員団体、地域ライフ・サポートセンター、労福協役員等68名が参加して第40回研究集会を開催した。



西田理事長

西田満明労福協理事長が、「私たち労働者を取り巻く環境は大変厳しい。経済大国と言われる日本。しかし、先進国30カ国の中で、日本は4番目に貧困と言われている。経済大

国の日本が、何故なのかが問題点である。この20年間、特に2000年からの無理な規制緩和による自由化、これが働く仲間の格差を広げてしまった。このことが大きな要因といえる。

石川県では、企業の97%が中小企業で、労働者の7割が中小企業に勤めている。大企業と中小企業では毎月の給料が、この20年間で7万円もの差がついてしまい、これが大きく私たちの生活に押し掛かっている。このことが子

どもの貧困にも繋がり、全国では6人に1人、石川県でも10人に1人が貧困という状況である。そして、その殆どが一人親家庭である。子どもの貧困は負の連鎖を生み大学に進学するにもお金がなく、進学させられないことが、さらに格差を生んでしまっている。

2人に1人の学生が奨学金を借りないと大

学に進学できない。大学を卒業するまでに平均300万円を超す金額を借り、正社員となっても月々の返済は厳しく、何とか返済できればよいが、滞ると直ぐにブラックリストに名前が載る。将来、車を買いたい、結婚したいと思ってもお金を借りられない。このように負の連鎖を生んでいる。

これを何とかしなければという思いで、給付型奨学金制度の創設に向けて、署名活動や街頭活動などを通じて訴えてきた。今日はこの奨学金問題、現場で何が起きているのかを皆さんと共に勉強したい。」と挨拶した。

講演に入り、聖学院大学政治経済学部 柴田武男教授が「大学生にまつわる奨学金問題～奨学金の計画・利用・返済の現状～」と題し、「OECD34カ国の中で大学の授業料無償化制度、給付金制奨学金制度がともに無い国は日本だけである。家計の収入が減少する中、大学



柴田教授



パネルディスカッション

の学費は逆に高騰している。よって、借金に頼らざるを得ない。その最も多くは、日本学生支援機構の奨学金である。大学生の2.6人に1人、38.0%が利用している。卒業後半年経つと20年間の返済が始まる。延滞が続くと始まる債権回収業者からの厳しい督促や過酷な取り立ては、サラ金以上のものである。延滞が続けば裁判も起こされる。是非とも家庭で、金銭教育の一環として進路について話し合ってほしい。大学は学費だけでも450万円掛かる。ほかに生活費、その他教科書代諸々に、本当に1千万円近くのお金が掛かる。そのお金本当に大丈夫なんですか？親がどこまで支援出来て、どこまで本人がアルバイトで頑張るのか、真剣に話してほしい。」と講演した。



村田教諭



喜成司法書士

引き続き、「奨学金問題とこれからの奨学金制度について」と題し、パネラーに柴田教授、喜成清重司法書士、村田義和石川県立高校教諭、司会に中川博労福協専務理事が立ちパネルディスカッションが行われた。柴田教授からは、「大学4年間で奨学金貸与の『適格認定』をし、学業成績不振、学校処分等で約2万人が奨学金の支給停止となっ

ているのが現状である。」村田教諭からは、「高校3年の5月上旬には奨学金の予約採用をする。18歳の金銭感覚のない中で借金の話となる。また、申し込みでは、所得証明の添付が必要であり、家庭の状況まで関わってしまい、複雑な心境となる。」喜成司法書士からは、「知人の子どもが奨学金を700万円借入れしている。学校の現場で、将来の奨学金返済などの話を是非ともお願いしたい。」と、現状報告と提起がされた。

最後に、中川労福協専務が「給付型の奨学金制度がようやく誕生した。非常に高い応募条件かもしれないが、徐々に条件が緩和され、家庭の経済的な問題で、教育を受ける機会が失われることのないよう、将来の子どもらのためにも奨学金問題の解決に向けて継続して協力をお願いする。」と締めくくり、奨学金問題の課題認識を深めた。



中川専務

これからの行事予定

(2月25日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
2月27日	月	第2回金沢市生活困窮者自立支援連絡協議会	松ヶ枝福祉館
28日	火	消費者支援NW 消費者部会「北陸農政局との意見交換会」	北陸農政局
3月3日	金	石川県ユニセフ協会 会計監査	石川県ユニセフ協会
〃	〃	第47回石川県消費者大会	県地場産業振興センター
8日	水	中部会館協 平成28年度第3回幹事会(～9日)	三重県
〃	〃	第88回石川県統一メーデー金沢中央大会第1回実行委員会	フレンドパーク石川
9日	木	中央労福協 第3回地方労福協会議	東京都
10日	金	労福協・LSC 第13回LSC代表者会議	フレンドパーク石川
11日	土	第11回婚活事業「恋をみつけてランチパーティー2017spring」	金沢市内
16日	木	食みどり水NW 幹事会	フレンドパーク石川
21日	火	職業紹介責任者講習	東京都
〃	〃	石川県社会福祉審議会	石川県庁
28日	火	労福協 第3回事業団体連絡会議	金沢市内

LSC事務担当者研修会



石川労福協ライフ・サポートセンターは、1月25日(水)ANAクラウンプラザホテル金沢において、第17回ライフ・サポートセンター事務担当者研修会を開催した。

9地域のライフ・サポートセンター事務担当者及び主催者事務局が参加し、2017年度予算案の作成、2016年度会計の決算スケジュール、経理処理における注意点など年度末に向けての事務処理について、事務局から提案、説明をした。質疑では、参加者から、各地域LSC普通預金通帳の取り扱いと決算スケジュールについての要望等が出された。

また、毎年実施している事業団体チラシの配布と事業団体支援活動についても事務局から要請し、9地域とも活動を確認し、閉会した。

金沢地域LSC



金沢地域ライフ・サポートセンターは、1月13日(金)労済会館において、連合石川かなざわ地協との合同で、新たな年の出発点として「2017年 NEW YEAR 旗開き」を230名の参加にて開催した。



連合石川かなざわ地協南弘樹議長が主催者挨拶をし、続いて来賓の連合石川事務局長湊口洋伸氏の祝辞、金沢市労働政策課長廣田康太郎氏による山野之義金沢市長からのメッセージ披露に続き、金沢地域LSC綿征一会長の地酒での乾杯で始まった。

歓談中には、かなざわ地協推薦議員、事業団

体から石川労福協専務理事、北陸労金石川県本部部長、全労済石川県本部事業推進部長、石川労信協理事長、勤労者体育協会会長、いしかわ介護ボランティアセンター事務局長が其々スピーチしたのに続き、人気の“福引き”が行われ、会場は大いに盛り上がった。

最後に、南議長の音頭で“団結ガンバロウ”三唱で締めくくった。

金沢地域LSC 事務局長 松浦政雄

加賀地域LSC

第15回写真審査会及び第32回写真展



加賀地域LSCは、『第15回写真審査会』を1月24日(火)に中川宏治先生を招き、大同工業労働組合にて行った。出品作品

はモデルの部21点、一般の部20点の計41点で、審査の結果、各部門5点の計10点が入賞作品として選ばれた。

出品作品は、『第32回写真展』(2月7日(火)～15日(水)の9日間)として、平和堂アビオシティ1階セントラルコート



において展示した。恒例行事となった写真展は、多くの買い物客が足を止め、中川宏治先生のコメントを読みながら、1点1点念入りに見ている。

帰りにはパンフレットを持っていられる方もいて、労福協ライフ・サポートセンターの活動をより多くの方に知っていただける、良いきっかけになったと思う。

加賀地域LSC 事務局長 永井達也

勤 体 協

第51回県勤労者冬季体育大会

《バスケットボール》

2月5日・野々市市民体育館

◇女子1組

①ルーザーズ②Nanao③レクサスレディース

《卓球大会》

2月5日・金沢市営中央市民体育館

【硬式】

◇男子

▷1組①グロリアA②四十万クラブ③档の会B
▷2組①OVERLIGHT②北陸電力③能美卓協A
▷3組①档の会A②小松TTC③木曜会A

◇女子

▷1組①NOTOヤンキース侍②勤体協C③ウィンズ星
▷2組①NOTOヤンキース隼②チームマヒナ③はるもに

勤労者早春書画・生花展

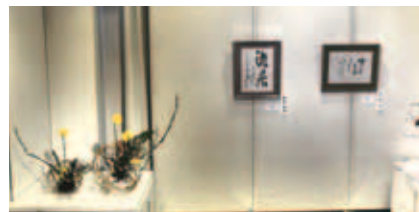
勤文協(石川県勤労者文化協会)は、2月2日(木)から、しいのき迎賓館ギャラリー A 及び B で、「第47回石川県勤労者早春書画・生花展」を開催した。

この展覧会は、石川労福協、野々市市、北國新聞社、北陸放送が後援して5日(日)までの会期で行われ、県内の勤労者などのアマチュア作家が制作した日本画、洋画、書道の作品89点が展示された。

が展示された。

また、草月流、池坊流の華道家による生花が彩りを添え華やかな展覧会となった。

さらに、野々市市の情報交流館カメラ3Fギャラリーにて日本画、洋画、書道の入賞作品の特別展示を2月10日(金)から12日(日)まで行った。



書 道



労福協理事長賞
「五十嵐君代詩」
長内礼子(金沢市)



北國新聞社長賞
「大地讃頌より」
木谷司(金沢市)



招待出品(奨励賞)
「無為自然」
角秀子(秀嶺)(金沢市)



金賞
「柿本人麻呂歌」
村上ルミ子(金沢市)



銀賞
「大友旅人歌」
中本富子(金沢市)



銅賞
「春来草自生」
畠中敏子(金沢市)

日本画



勤文協会会長賞
「いけいけ有那ちゃん」
森ときえ(金沢市)

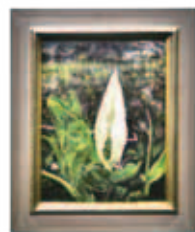


労福協理事長賞
「コタンの春」
南京子(金沢市)

洋 画



労福協理事長賞
「新春の微笑み」
西村光(金沢市)



北國新聞社長賞
「みずばしょう仏心」
南出洋子(小松市)



野々市市長賞
「水のある風景」
境谷芳枝(野々市市)



招待出品(奨励賞)
「優子おばさん」
中山佳子(金沢市)



金賞
「静物」
橋本洋子(七尾市)



銀賞
「花」
谷本恵美子(七尾市)



北國新聞社長賞
「立春(梅とマンサク)」
中橋湧介(小松市)



銅賞
「鯉」
西井久雄(金沢市)